

ちょうふ ISO譜

人類の危機！



第101号（令和3.7.21）
発行：環境政策課 ISO事務局（内7086）

調布市と調布市議会は、
2050年までに二酸化炭素の排出実質ゼロを
目指す「ゼロカーボンシティ」の実現に向けて
共同で宣言を行いました。

今、そこにある『気候危機』～地球温暖化の深刻化～

地球温暖化の進行により、世界の平均気温は産業革命前（工業化前）と比較して、約1.2℃上昇しました。

今後、有効な温暖化対策をとらなかった場合、21世紀末の世界の平均気温は20世紀末頃と比べて、2.6～4.8℃上昇、厳しい温暖化対策をとった場合でも0.3～1.7℃上昇する、とされています。さらに、平均海面水位は、最大82cm上昇する可能性が高いと予測されています。



温暖化の影響を受けやすいサンゴ。白化（骨が透けて見える状態）したのち、死滅していきます。

地球温暖化の影響は、記録的猛暑や豪雨、大型台風、山火事、氷河の溶解、農作物被害など、既にこれまで経験したことのない自然現象や生命を脅かす災害をもたらし、世界中で猛威を振るい続けています。

私たちは、新型コロナとの闘いを乗り越えていくとともに、深刻さを増す気候危機を認識し、立ち向かう行動を進めていかなければなりません。

職員一人一人の行動を結集してCO₂大幅削減を実施しよう！

このまま人類が温室効果ガスを出し続ければ地球の大半は居住に適さなくなり、この10年が分水嶺とも言われています。

市は市議会と共同で2050年までに二酸化炭素の排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンシティ」の実現を目指すことを宣言しました。

全庁一丸となって地球温暖化対策の取組を進めていきましょう。



<調布市ゼロカーボンシティ宣言>

2050年ゼロカーボンシティの実現に向けて

地球温暖化を抑えるためには、温室効果ガスの排出実質ゼロの実現が必須です。

2050年ゼロカーボンシティを実現させるため、一人一人が地球温暖化及び気候変動の問題に危機感を持ち、自分事としてとらえて意識、行動を変える“かしこい選択”を積み重ね、広げていくことで、暮らしを変え、未来の脱炭素社会の実現に貢献していくことを目指しましょう。

令和3(2021)年度 調布市地球温暖化対策実行計画(区域施策編) 策定
国や東京都が掲げる目標年度(令和12(2030)年度)を踏まえ、計画期間を設定しました。

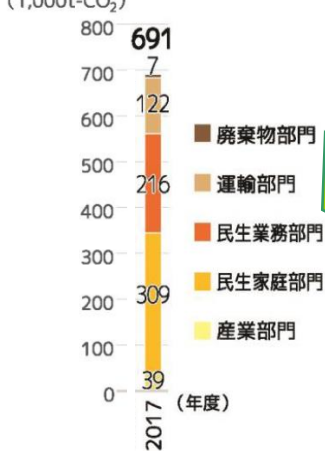
令和12(2030)年度 **中期目標** 温室効果ガス(二酸化炭素)の排出量を平成25(2013)年度比 **40%削減**
東京都環境基本計画で示された「2030年までに東京都の温室効果ガス排出量を2013年比で38%削減」という目標を踏まえつつ、設定しました。

2050年 **長期目標** 温室効果ガス(二酸化炭素)の **排出実質ゼロ**
国や東京都が掲げる2050年までに温室効果ガス(二酸化炭素)の排出実質ゼロに貢献していくことを目指します。

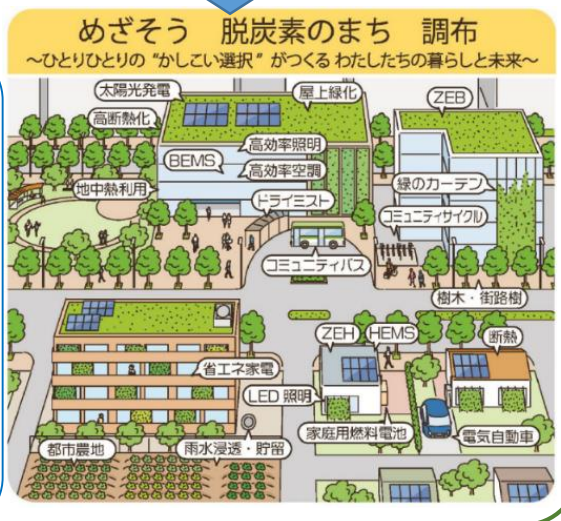
市として、2030年に市からの二酸化炭素の排出を40%削減します。
高い目標ですが、1つ1つ省エネ・創エネに取り組み、実現へ。

2030年の調布の街のイメージです。

市における部門別二酸化炭素排出量の割合



市内の二酸化炭素排出量の割合です。
民生業務(事務所等)・民生家庭の割合が多いことが分かります。
市役所も**民生業務**に入ります。**一事業者として市民や事業者**に率先した削減行動が必要です。



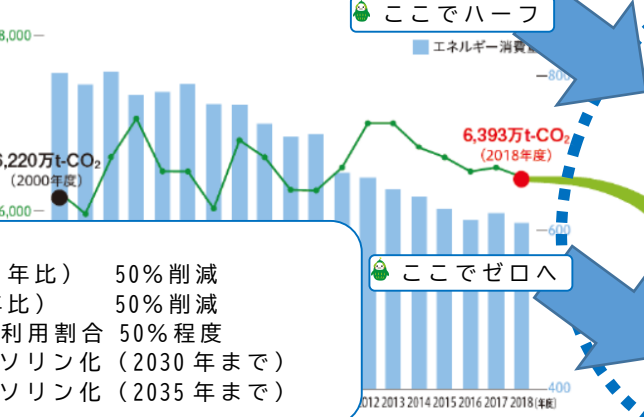
いそっぷコラム “カーボンハーフ”

温室効果ガス排出量を半減することです。

出典:「ゼロエミッション東京戦略 2020 Update & Report」(令和3年3月)

東京都は、2050年の実質排出量ゼロ実現に向けた節目として、「2030年カーボンハーフ」の実現を表明しました。今後10年以内に都民のライフスタイルが大きく変化します。

温室効果ガス排出量の推移等



- 2030年に向けた都の目標の強化
- 都内温室効果ガス排出量(2000年比) 50%削減
 - 都内エネルギー消費量(2000年比) 50%削減
 - 再生可能エネルギーによる電力利用割合 50%程度
 - 都内乗用車新車販売 100%非ガソリン化(2030年まで)
 - 都内二輪車新車販売 100%非ガソリン化(2035年まで)

★環境目標(各課共通項目・管財課項目)★

環境目標は、調布市役所の事務事業における環境負荷の低減と環境保全のため「環境管理マニュアル」に基づき設定しており、全課に係るものです。

計画上、更に目標達成が厳しくなったものもありますので、より一層の計画的な取組をお願いいたします。

粘着テープ、封筒、タックラベル（インデックスラベルを含む）、付箋紙など、「グリーン購入法適合商品」であるか、いま一度確認のうえ、購入をお願いします。

※対象品目は、運用管理手引き「グリーン購入品目」(p9)参照

職員一人一人の環境意識の更なる向上により、達成していきましょう。

☆令和2年度下半期の実績

取組対象	項目	○…達成	第3四半期判定	第4四半期判定	解説
全 公共施設 または車両 の所管課	各課 共通項目	1 第3次調布市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）の目標達成 -平成26年度の総排出量から3.2%削減- ※省エネ法『毎年1%ずつエネルギー消費を減らそう』達成のため、それに見合ったCO ₂ 排出量を削減	未達成	未達成	空調使用の影響大 (コロナ対応)
		2 環境確保条例に係るCO ₂ 総量削減義務制度対象施設の光熱量に伴うCO ₂ 排出量の削減 -基準年度のCO ₂ 総排出量から27%削減-	○	○	施設の利用制限の影響
		3 グリーン購入の推進 -グリーン購入率を95%以上にする- ※環境負荷の少ない製品「グリーン購入法適合商品」を選択して購入	○	○	—
市庁舎内の全課	管財課項目	1 電気使用の抑制 -平成26年度における電気使用量を上回らないようにする-	未達成	未達成	空調使用の影響大(コロナ対応)
		2 ガス使用の抑制 -平成26年度におけるガス使用量を上回らないようにする-	○	○	—
		3 水道使用の抑制 -平成26年度における水道使用量を上回らないようにする-	○	○	—
		4 可燃物排出量の削減 -平成26年度における可燃ごみの排出量を上回らないようにする- ※可燃物…資源物(新聞・雑誌+リーフレット・段ボール・ミックスペーパー) +資源物以外の可燃物	○	○	国勢調査事務による増あり
		5 資源化に適さない可燃物排出量の削減 -平成26年度における資源化に適さない可燃物排出量を上回らないようにする- ※資源物以外の可燃物	未達成	未達成	
		6 不燃物排出量の削減 -平成26年度における不燃ごみの排出量を上回らないようにする- ※不燃物…資源物(カン・ビン・ペットボトル・プラスチック) +資源物以外の不燃物	未達成	未達成	レイアウト変更の整理等による増
		7 資源化に適さない不燃物排出量の削減 -平成26年度における資源化に適さない不燃物排出量を上回らないようにする- ※資源物以外の不燃物	未達成	未達成	



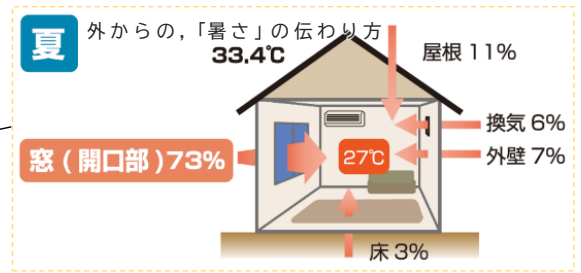
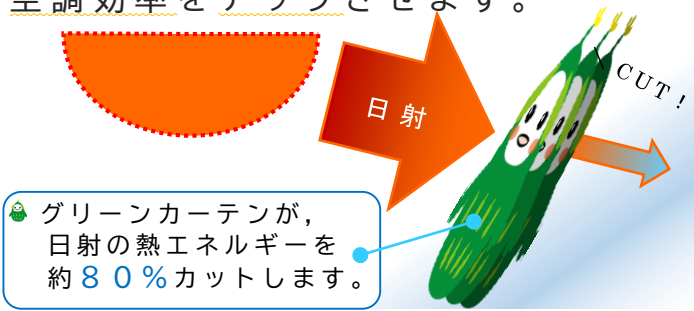
令和 3 年度 電話べんり帳の
 主役となった
 地球温暖化対策啓発キャラクター 達

令和 2 年度末改定の各種環境計画に出たり，電話便利帳でトップを飾るなど，現在注目度上昇中の“ゴヤたん”氏ですが，彼ら(?)は何者なのか。FAQからいくつかお答えします。

Q なぜゴーヤなの？地球温暖化対策と関係があるの？

A ゴーヤは、「グリーンカーテン」を作る際の代表的な植物です。

「グリーンカーテン」は、太陽光の遮断と、植物葉面からの蒸散による気化熱を利用して、建物の温度上昇を抑えられる、省エネ手法です。空調効率をアップさせます。



出典：「住宅の省エネルギーフォームガイドブック」
 東京都住宅政策本部，一般社団法人日本建材・住宅設備産業協会

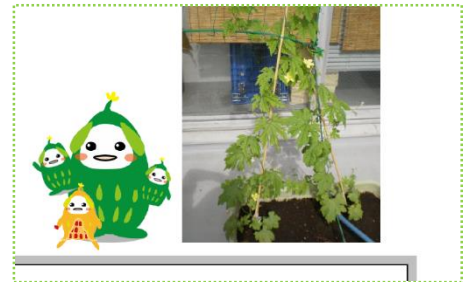
Q 名前の由来は？

A 平成 30 年度開催の「調布市環境フェア」で名前を募集して決まりました。

「調布市環境フェア」は，毎年 6 月 5 日「環境の日」に近い土曜日に開催。

環境保全の重要性を認識し，環境行動の契機としてもらうためのイベントです。

イベントでは，ゴーヤの苗の配付も行い，省エネ行動につなげています。



△ ちょうふ I S O 譜° 初登場時のゴヤたん氏 (無名時代；平成 2 5 年第 7 4 号)

最後に いそっポクイズ “気温上昇”

人間活動は，産業革命前に比べて，2017 時点 (2017 年を中心とする 30 年平均値) で，約何℃上昇させたでしょうか。

※ 答えは今号のどこかにあります。探してくださいね。

ヒント：パリ協定 (2015 年) では，世界の平均気温上昇を，産業革命前に比べて 2℃より十分低く保つとともに，1.5℃に抑える努力を追求することとしています。まだ超えてはいませんが，今，取り組んでいかないと，危険なところまで来ています。既に民間企業では，“環境”への取組についても企業評価の一部となっています。